



みんな楽しく みんなでもチャレンジ みんなまる笑顔の

みんなまの子

南有馬小学校だより No.11

令和8年6月26日(金)

南島原市立南有馬小学校

校長 大草 修三

天まで届け、ぼくの、わたしの願いごと ～みんなまの子の七夕飾り～



6月22日(月)から28日(日)までの1週間、南有馬小学校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。この教育週間は、学校と保護者、地域の方々が連携し、「地域の子どもは地域で育む」という気運を高め、「いのちを輝かせて生きる心豊かな長崎っ子の育成」を目指す取組で、毎年度、長崎県内のすべての公立学校で実施されています。本校でも、この1週間、様々な取組を行っています。

その一つとして、23日(水)の5校時に、1・2年生が南島原市商工会女性部南有馬支部の方々と一緒に七夕飾りを行いま

した。この七夕飾りの取組は、地域学校協働活動の一つでもあります。1・2年生の子どもたちは、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

七夕飾り用の笹は、商工会女性部の高橋さんが提供してくださいました。3本いただき、低学年、中学年、高学年でそれぞれ1本ずつ飾りつけをしました。子どもたちは、それぞれの願いを短冊に書き、願いを込めて笹に結んでいました。

全校児童の作った七夕飾りは、中央玄関のロビーに飾っておりますので、ぜひご覧ください。

願いごと紹介

六年
家族みんなが健康で
いますように。

五年
バスケット(ヴェルカ)の試合が
見に行けますように。

四年
理科がもっととくいに
なりたいです。

三年
だいにんき ユーチューバーに
なりたいです。

二年
クレープやさんに
なりたいです。

一ねん
わたしはながれぼしが
みたいです。

子どもらしい、すてきな願いごとばかりです。



ほっとタイム

学校だより「みんなまの子」No.8のこのコーナー（みそ汁の話）に対するクレームが届きました。クレームの内容は以下のとおりです。

この記事は真実を伝えていません。「私の得意な料理は『みそ汁』です。」と記述されていますが、正しくは「私は『みそ汁』しか作れません。」です。日本語は正しく使いましょう。

また、「毎朝、作ります。」とありますが、けっして「毎日」ではありません。二日酔いの朝は、作っていないでしょう。土曜日、日曜日は私が作ることの方が多いです。教師たるもの、嘘をついてはいけません。

即刻、訂正しましょう。

このクレームの主は、みなさんのご想像のとおりです。

すみませんでした。上記内容に相違ないことを認め、ここに訂正いたします。

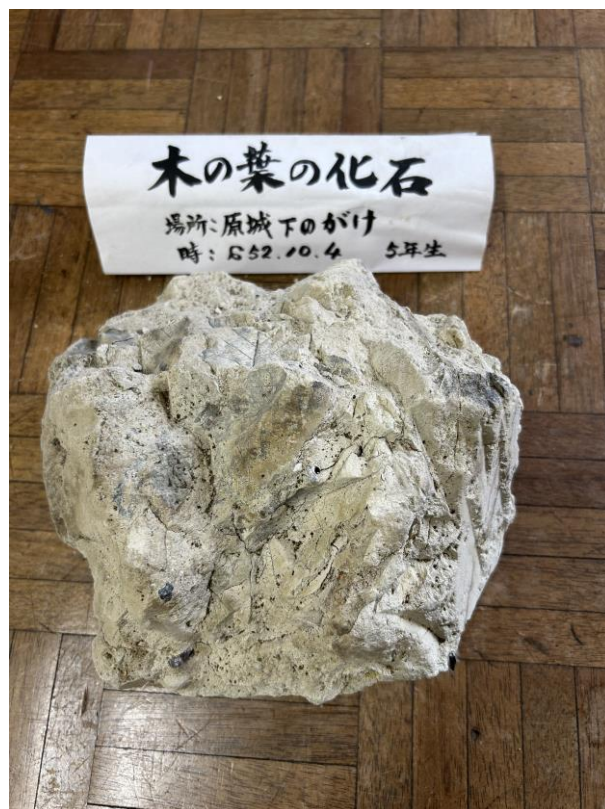


ついでに、私がみそ汁を作るときも、このクレームの主はちゃんと栄養バランスのとれたおかずを作っていることを申し添えます。けっして何もしていないわけではありません。

それにしても、迂闊でした。この「みんなまの子」が、回覧板で我が家にも回ってくることをすっかり失念していました。

ということは、今回の「みんなまの子」が回覧板で回ってきたら、再炎上するかも。でも、訂正しなかったらしなかったで…。このような状態を「前門の虎、後門の狼」ではなく「前門の妻、後門も妻」というのでしょうね。しまった！また、失言😓

半世紀ぶりの再会



上の写真、何の写真かわかりますか？実は、本校のヒストリールームにひっそりと置いてあった木の葉の化石です。写真では木の葉があることが分かりにくいかもしれませんがね。

実は、この木の葉の化石は、私（正しくは私たち）が小学校5年生のときに、理科の学習で地層の勉強をした際、原城下のがけで発掘したものなのです。「S52.10.4 5年生」と記録されています。実に、49年ぶりの再会です。

この化石を見つけた時のことは、今でも鮮明に覚えています。担任の先生が地層を示して「この黒く見える部分は、昔の植物なんだよ。」と教えてくださった場所を掘ってみたら、化石が出てきたのです。何十万年も前の木の葉が、長い年月を経て私たちの前に出てきたことに、素直に感動しました。そして、再びこの木の葉の化石に、ヒストリールームで再会できたことに感動しています。これこそ、化石の奇跡ですね。